

二、三の例を私が知っている範囲でご紹介します。

ちょっと特殊な例かもしれませんが、モスクワで 4 万坪の大規模ショッピングセンターを開設運営している賛栄商事という会社があります。羽曳野市の会社で、今は大阪市内に本社があります。日本人の社長が一人で行って、モスクワに 700 名のロシア人スタッフがいます。これには曰く因縁がありまして、現社長のお父さんがシベリア抑留者だったのです。抑留中に病気したり、いろんな苦労があったのですが、収容所の所長が助けてくれて日本に無事帰って来た。日本で成功した後に、恩返しをしたいとその所長を探しに行くのです。それが縁になって息子さんをロシアに派遣して、ついには大ショッピングセンターを開設することになったわけです。これはロシアでも大変評価されています。

他の日本企業では、徳島の東海運という会社が、コツコツと営業して消費物資・日用雑貨の輸出で成果を上げています。衛生用品や子供服などの日用品、島根県の瓦、牡丹の球根、岐阜県関市の刃物などの輸出をコンテナ単位で始めて、だんだんと軌道に乗ってきているように聞いています。

在日ロシア人のビジネスマンも活躍

京都に住んでいるロシア人女性で、エカテリーナさんという方がいます。彼女はロシア・イルクーツクの Yanta 社製ひまわり油、大豆油、マヨネーズなどの輸入販売をしています。品質の良いひまわり油で、スーパーに卸したり、阪急百貨店でも売っており、素晴らしい業績をあげている。私は、昔は「ロシアのものは何を持って来ても日本では売れない」「品質が悪くてダメだ」と思っていたのですが、最近では違うのですね。探せばロシアにもいいものがある。

日本に住んでいるロシア人が会社を設立して頑張っているケースはほかにも多数あります。

ロシア人女性で大阪在住のリリアさんという方は服飾デザイナーです。ドレスをデザインして制作・販売していて、相当高価なドレスですが、北新地の店で飛ぶように売れているそうです。

神戸にはバラノフという男性がいて、元町でチョコレート屋さんを開いています。この人の先祖は帝政ロシア時代に「バラノフ」というブランドのチョコレート屋さんだったのですが、ロシア革命で工場を全部没収されてバラノフ・ブランドが無くなった。彼はウラジオストク出身で、日本語もよくできる人ですが、先祖の名前をもう一度復活させたいと、神戸で非常に美味しいチョコレートを作っています。

このように、日本からロシアに行きビジネスをやっている方もいるし、逆にロシアから日本に来て頑張っている方もいる。現在約 1 万人のロシア人が日本に住んでいます。その中からも新しいビジネスマンが生まれてきています。

ロシアと出会ってよかった！

私は、文章を書くのが好きなもので、先ほど紹介した私の体験談をまとめて、「落第社長のロシア貿易奮戦記」という本を出版しました。また、関西日露交流史研究センターという団体を立ち上げて、日露交流情報をインターネットで配信しています。これ

からは日本に住んでいるロシアのビジネスマンや芸術家、多彩な活動をしている方々をインタビューして、そのルポルタージュをまた本にして出版したいと考えています。

何しろ 19 歳で初めてロシアと出会いまして、ロシア語を勉強して、ロシア相手の貿易をやってきました。倒産もし、全財産を失って路頭に迷ったり、いろんなことがありましたが、やっぱり私はロシアと出会ってよかったなどは思っています。人生あと何年残っているかわかりませんが、充実した人生だったと思います。お金をいっぱい稼いでも、病気になったり早く死んだりしたら意味がありません。私はロシアの人たちと心と心がつながって、自分の人生も少しは意義があったと最近では思うようになりました。

これまで 40 年以上ロシアとつき合ってきて、これからますます日本とロシアが友好交流を深めて、お互いの国が発展するように願っております。

(2017 年 11 月 28 日大阪、ロ東貿セミナーでの報告)

「落第社長のロシア貿易奮戦記」

岩佐毅著／展望社／定価 1900 円＋税

岩佐さんの 40 年間におよぶロシアビジネス経験。「七転び八起き」の言葉がそのまま当てはまる半生の記録。ソ連時代のビジネス慣行や当時の世相も映して興味深い。

日本におけるロシア年 **特別協賛企画**

加藤登紀子

百万本のバラディナーライブ

日時:5 月 18 日(金) 18:00 開場/18:30 開始

会場:名古屋国際ホテル“国際ホール”

会費:A 席 20000 円 / B 席 18000 円

(全席指定・フルコースディナー・飲物付)

主催:一般社団法人 日ロ友好愛知の会

TEL/FAX; 052-485-6853

後援:在大阪ロシア連邦総領事館

日ロ友好愛知の会が「日本におけるロシア年」特別協賛企画として、加藤登紀子さんのディナーライブを開催します。

曲目は、百万本のバラ、遠い祖国、悲しき天使、花はどこへ行った、リリー・マルレーン、愛の賛歌など、心に残る歌ばかり。シベリアの東・ハルビンで生まれた加藤登紀子さんは東大在学中にシャンソン歌手としてデビューして半世紀。それぞれの時代の世界の愛の歌を歌い続けてきました。2018 年の日本年・ロシア年ではサハリンでの公演も予定されています。皆様のご参加をお待ちしています。